

ひまわり 議会だより

No.45

2021.4.16

発行編集：日之影町議会報編集委員会

「山で育ち、山で喜ぶ！」 (谷川峰喜さん夫婦) ←の水

議案紹介・・・P2 令和3年度一般会計予算・・・P3
委員長報告・・・P5 一般質問・・・・・・・・・・P8

令和3年 第1回定例会 議案一覧

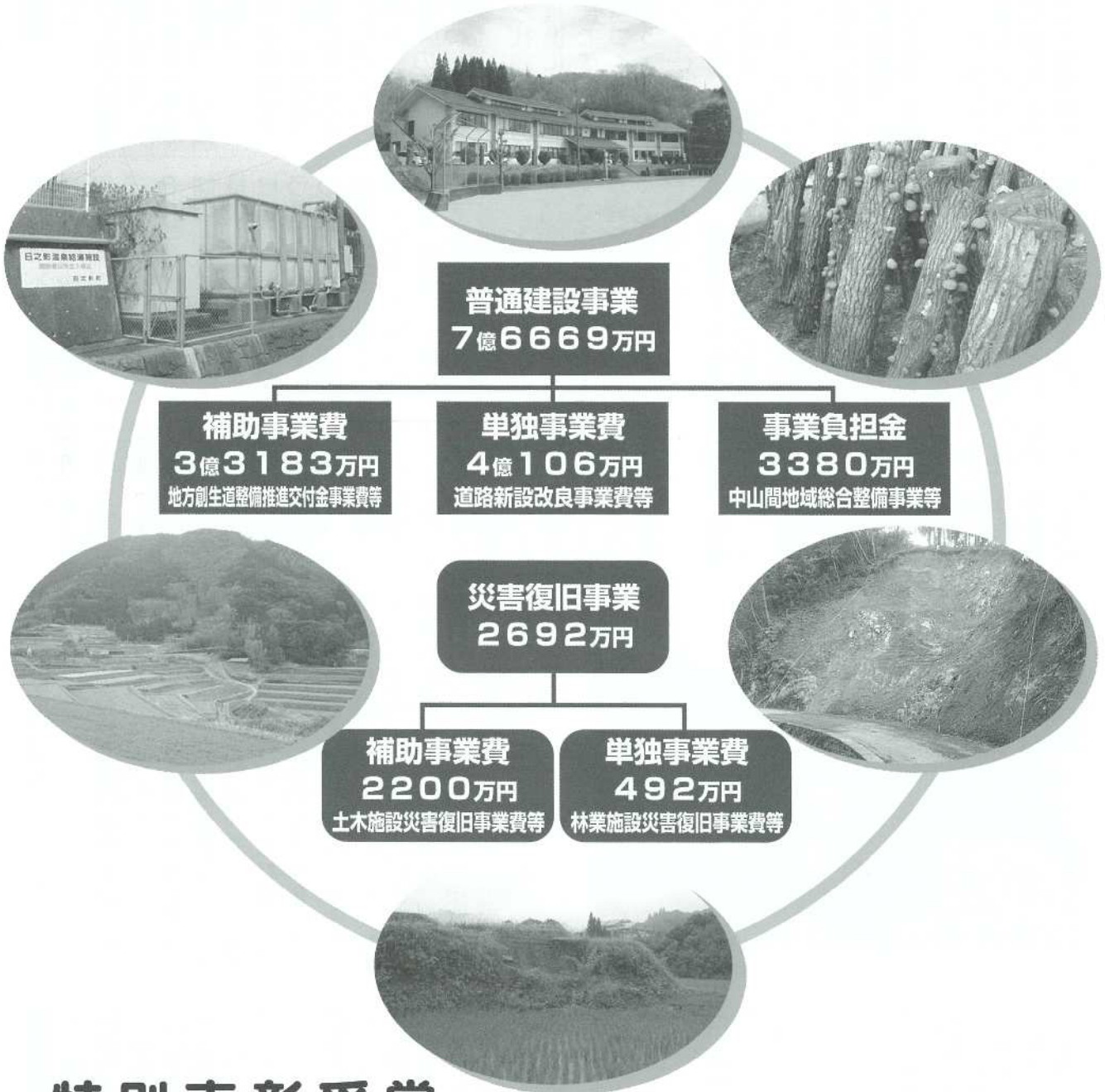
議案番号	件名	概要	
報告 第1号	専決処分事項の報告について	平底山裏線橋梁工事の土留工追加による工事請負変更契約を専決	
報告 第2号	専決処分事項の報告について	新庁舎工事の請負金額変更による工事請負変更契約を専決	
報告 第3号	専決処分事項の報告について	防災行政無線デジタル化工事のアンテナ変更による工事請負変更契約を専決	
同意 第1号	教育長の任命について	橋本範憲教育長の再任	
同意 第2号	西臼杵郡公平委員会委員の選任について	高千穂町 甲斐教也氏を選任	
諮問 第1号	人権擁護委員の推薦について	細木栄子氏の推薦	
諮問 第2号	人権擁護委員の推薦について	谷川眞由美氏の推薦	
承認 第1号	専決処分事項の承認について（専決第15号）	今年成人式に出席できなかった本町出身の新成人者への支援金措置等	
承認 第2号	専決処分事項の承認について（専決第2号）	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に要する経費措置等	
議案 第1号	日之影町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定について	町内郵便局において町の諸証明発行事務の一部を取り扱わせるための議決	
議案 第2号	日之影町課設置条例の一部を改正する条例	課の名称変更、事務分掌の移管に伴う条例の一部改正	
議案 第3号	日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例	新庁舎町民多目的ホールの使用料に関する条例の一部改正	
議案 第4号	日之影町介護保険条例の一部を改正する条例	介護保険条例の一部改正	
	令和3年度施政方針	各事業遂行にあたる施政方針	
議案 第5号	令和3年度日之影町一般会計予算	町長の施政方針及び令和3年度予算に対し、特別委員会を設置し、各課に予算の算定基準や事業概要の説明を求め予算を審査する。 3～5ページを参照	
議案 第6号	令和3年度日之影町国民健康保険病院事業会計予算		
議案 第7号	令和3年度日之影町国民健康保険事業特別会計予算		
議案 第8号	令和3年度日之影町簡易水道事業特別会計予算		
議案 第9号	令和3年度日之影町奨学資金事業特別会計予算		
議案 第10号	令和3年度日之影町農業集落排水事業特別会計予算		
議案 第11号	令和3年度日之影町介護保険特別会計予算		
議案 第12号	令和3年度日之影町後期高齢者医療特別会計予算		
議案 第13号	令和2年度日之影町一般会計補正予算		歳入歳出それぞれ23,204千円追加し予算総額を7,373,365千円とした
議案 第14号	令和2年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正		新型コロナウイルス感染症関係補助金の追加等
議案 第15号	令和2年度日之影町国民健康保険病院事業特別会計補正予算	保険基盤安定繰入金の補正	
議案 第16号	令和2年度日之影町簡易水道事業特別会計補正予算	人件費、光熱水費、消費税の補正	
議案 第17号	令和2年度日之影町介護保険特別会計補正予算	地域支援事業が一部実施できなかったことによる減額補正	
議案 第18号	令和2年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算	不用額整理に伴う減額補正	

令和3年度 日之影町一般会計予算

第5次日之影町長期総合計画や第2期日之影町地域創生総合戦略、また、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みつつ、持続可能なまちづくりを行っていくための予算編成となっている。総額のうち投資的事業費約7億9362万円、公債費約6億600万円となっている。今回は投資的事業費について記載する。

予算総額 48億1000万円

■令和3年度投資的事業費



特別表彰受賞



2月16日に開催された、第72回宮崎県町村議会議長会定期総会において、正副議長10年以上在職者として、宮崎県町村議会議長会特別表彰に甲斐徳仁議員が表彰されました。なお、この特別表彰は新たに規定されたもので、県内町村議会で初の受賞となります。

町民の皆様や議会、関係各位の御理解と御協力により貴重な表彰を受けることができました。感謝申し上げます。
〔議員 甲斐 徳仁〕

■総務文教常任委員会

1、行財政運営について

【問】今後、大規模事業における起債の元利償還の増加が見込まれることから、財政運営は厳しくなると予想されるが、持続可能なまちづくりに向けての町長の所見を伺う

【町長】コロナ過の中での予算編成となり、歳入にあった歳出、事業の選択を行ない、投資効果を見ながら年次計画的に財政需要等にも対応して行き、「住む喜びを実感し、笑顔あふれる光さすまち日之影」の実現に向け、全職員が一丸となって取り組んでいく。

2、子育て環境の充実と社会環境の変化に対応した教育の推進について

【問】乳幼児から高齢者まですべての世代が学び合える図書館づくりについて具体的な運営策を伺う

【教育長】図書館運営については、学校・家庭教育関係者・文化財関係者等で構成する「図書館協議会」を設置する。地域に根ざした質の高いサービスと共に、ホームページを立ち上げる等、啓発活動の拡充に努める。

【問】「日之影町子育て応援基金」を活用した取り組みについて更なる内容の充実がないか伺う

【町長】「日之影町子育て応援基金」の活用については、19事業に充当しており出産祝い金、学校給食の半額補助、中学校修了までの医療費負担

金助成や不妊治療費助成等を行っている。今後、待機児童のないよう保育士の確保に努め、移住定住に繋がるよう支援していく。

3、学校教育の推進について

【問】「ひのかげ学びのスタイル」を継承しつつ、GIGAスクール構想に基づいた教育環境の実現に努めたいうえで、心身ともに優れた児童生徒の育成について伺う

【教育長】子供達は、タブレットをしっかりと使いこなしている。今後は教職員と児童・生徒がメールで送受信できるような取り組みとオンラインで宿題等を送受信できるような機能を導入する。使用時間、情報モラルに関する問題等便利さだけではなく、怖さといった部分の指導も行い、子供達一人一人の可能性を伸ばしていく。さらに、体力面での強化にも取り組んでいく。

4、健康づくりの推進と福祉・社会保障の充実について

【問】高齢者福祉について高齢者が自立して充実した生活を送るために、高齢者大学やいきいきサロンなどを活用した更なる取り組みについて伺う

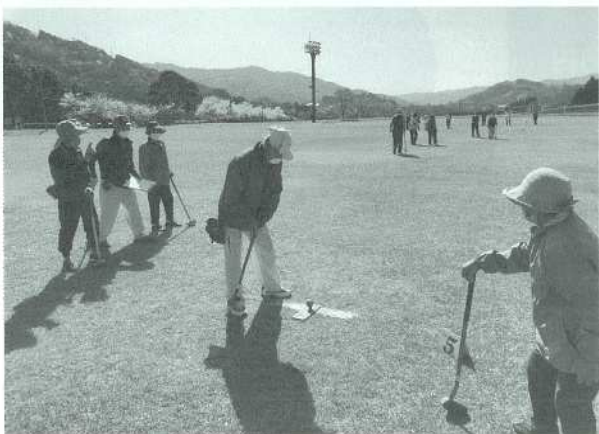
【町長】高齢者が生きがいを持って生きることが重要である。住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう社協・有償ボランティアの協力で事業を推進し、知恵を出し合いながら高齢

者の生きがいづくりに力を入れていく。

5、防災減災対策の強化と安心安全なまちづくりについて

【問】令和2年度に策定を終えた「日之影町国土強靱化地域計画」と「日之影町長期総合計画」並びに「日之影町地域防災計画」のそれぞれの役割を活かした具体的な連携を伺う

【町長】それぞれの計画内容を取り込み、関係機関と連携して土砂災害を未然に防ぎ、砂防治山施設の整備、避難時の経路、町道・農道・林道の整備等ハード事業のみならず福祉や医療活動、見守りサービスの強化等災害に強いまちづくりを計画的に推進する。



【日之影町グラウンドゴルフ大会】

■経済建設常任委員会

1. 情報発信の強化と定住・移住・雇用促進について

①情報発信の強化について

【問】定住・移住等の促進については更なる情報発信が必要であり、方針では、移住者目線の工夫が必要であるとのことである。その強化策を伺う

【町長】町や観光協会のホームページを活用し、移住関連事業を通じても情報発信をしている。令和3年度では、ポータルサイトでの特化した情報発信を行い、移住相談に関しては直接対面会も引き続き行っていく。

②関係人口の創出について

【問】令和2年3月6日の施政方針総括で質問した経緯があるが、新年度は関係人口者のつながりを強化するとのことである。新たな強化策を伺う

【町長】町人会、ふるさと納税者への御礼状の送付、ポータルサイトの活用やまちづくりアドバイザー、地域おこし協力隊と連携し、日之影町の名前を知ってもらい、関係人口の構築を図る。

2. 林業の振興について

【問】計画的な森林環境譲与税の有効活用を図るため、人材育成、担い手の確保や森林管理制度を活用した森林整備、木材利用の促進及び林道・作業道の計画的な整備について協議

検討を進め、循環型林業の構築、更には本町林業の活性化に努めるとの方針であるが、さらに伺う

【町長】3年度の森林環境譲与税は3,823万円である。国、県補助金の上乗せを活用し、自伐林家、重機のリース、さらに若手雇用に対する賃金、保険、研修などへの補助を行ない有効活用する。

3、地域経済を担う活力ある商工業の振興について

【問】商工業については新型「コナウイル」感染症の終息がまだ見えないなか、本町の活性化に中心的な役割を担っている商工会への組織強化のほか、新規支援制度等について伺う

【町長】新規支援策として移動販売事業者支援事業、商工会事務局体制強化事業がある。事務局体制強化については、平成13年度からは事務局長不在であり、3年度より組織強化をするため配置する経費について助成する。

4、観光の振興について

【問】世界農業遺産、ユネスコエコパーク、森林セラピー等のブランドがある。先般2つの旧高千穂鉄道橋梁が重要文化財の指定を受けたが、これを観光に活用しなくてはならない。町長の活用策を伺う

【町長】旧第三五ヶ瀬川橋梁は、現在セラピーロードとして活用しており、

人気スポットとなっており、一部鉄骨部分の塗り替えが必要であり、国の補助金を活用し整備したい。網ノ瀬橋梁は延岡市と連携しながら観光資源となるよう環境整備に努める。

5、町民の移動手段の確保について
【問】新庁舎移転に伴い大幅なダイヤ改正が必要となる。新規無料区間を設定するとあるが、新規取り組みについて伺う

【町長】役場周辺では無料区間とし、土・日曜日は連休としていたが、土曜日は運行する。国道沿いに新たに停留所を設置し、乗車実績の少ない集落線には予約制を取り入れて運用する。



【旧第三五ヶ瀬川橋梁】

予算審査特別委員会委員長報告

委員長 高館 英嗣

本委員会に付託されました、令和3年度日之影町一般会計予算、並びに特別会計予算の8議案につきまして、審査結果を報告いたします。

令和3年度一般会計予算は、大型投資事業も終了し、前年度より26.2%減の48億1,000万円で編成され、大型投資事業前の平成30年度当初予算、46億1,600万円より4.2%の増となっている。

歳入において、町税及び地方譲与税等が減少する中、増額となった地方交付税、地方特例交付金は、依存財源の割合が大きい本町にとっては命綱といえる。特に、本年度は寄付金が前年度より22.4%の増額を見込んでいるが、支援していただいている方々へは、感謝の念に堪えないものである。

しかしながら、令和10年度に約8億円の起債償還のピークを迎える予定で、健全な財政運営を行うためにも、更なる財源確保が必要であり、国、県へと要望を行うとともに「ふるさと応援

寄付金」への対応強化が求められる。

また、本年度予算の歳出において、社会資本整備等が増となっており、町民の生活環境整備に着目した予算編成となっている。

さらに、源泉の安定した湯量の確保を行うための設備改修は、本町の誘客施設として重要な役割を担っている日之影温泉駅を運営するために必要な投資であるが、投資後の施設の運営状況を継続して注視する必要がある。

諸支出金の増は、高千穂鉄道基金精算分の公共施設等整備基金への積み立てが主な要因であるが、基金の繰出しにおいては使用目的を明確にし、効果の見える使用が望まれる。

我々議会も行政、町民と一体となり、提言・提案を行い持続可能な町づくりを務め、予算の執行に当たっては、過去の反省を踏まえ検証していくことが重要であると考えております。

以上、令和3年度一般会計予算並びに特別会計8議案については、本会議において可決すべきものと決定いたしました。

所管事務調査報告

■総務文教常任委員会

【調査事項】

①町営住宅の空家の現状について

②職員住宅の現状と対策

・老朽化対策について

・長期的な活用（管繕等）について

・整備（建替え含む）について

③町借地及び遊休施設の現況と対策について

・長期的な活用について

・整備（取得や返却）について

【期 日】令和3年1月28日

【場 所】

1. 教職員住宅（宮水、高巣野、袴谷、崎の原）

2. 中央児童遊園地、高校跡地、中村青雲橋横駐車場、宮崎部品駐車場、高松中学校

①町営住宅の空家の現状について

町営住宅の空き家の現況は、政策空家を除き、公営・一般住宅併せて14戸である。政策空家については、老朽化による危険対策や、防犯、安全管理対策をする必要がある。

②教職員住宅の現状と対策

教職員住宅の管理戸数は21戸で令和3年1月末現在の入居状況は、入居戸数18戸、空き家3戸（袴谷2戸、日之影中下1戸）である。

最も古い宮水小住宅は築39年経過しているが、外部は良好な状態である。

ただ、トイレが簡易水洗であり、

早急な改修が必要である。高巣野小については、教頭住宅の外壁に損傷があるが、令和3年度に改修を予定している。

その他の教職員住宅は、大きな損傷、室内の設備などの修繕はないとのことである。

袴谷住宅は管理戸数4戸のうち、空き家が2戸となっている。

③町借地及び遊休施設の現況と対策について

①中央児童遊園地

中央地区において、青雲橋が一望でき、桜も植栽され、住民の憩いの広場としての活用されていることから、用地取得に向け取り組んでもらいたい。

②高校通り 高校跡地

跡地は町所有で、建物は老朽化しているが、高校通り公民館として活用されており、グラウンドなど、草刈り等の管理もされている。今後の活用によっては、衛生的な観点からトイレ設備の改修を検討する必要がある。

③中村 青雲橋駐車場

青雲橋東駐車場として整備され、トンネル上の町道へのアクセスとしても使用され、また、公共駐車場として利用されている現状をみると、引き続き町としての管理が望まれるが、一部が借地であり、今後、用地取得に向けた交渉をする必要がある。

④宮崎部品駐車場跡地

宮崎部品工場閉鎖後も借地としてきたが、新庁舎への移転に伴い、今後職員駐車場として利用する予定で、将来的に長期間の使用が見込まれることから、地権者との取得に向け交渉中であると説明を受けた。

⑤高松中学校

校舎の一部をグラウンドゴルフ道具倉庫や、卒業生有志による中学校関係の資料等の保管場所として使用している。校舎及び体育館は老朽化が進んでおり、安全面、防犯面等から、地域住民と協議し早急な対応が必要である。

【総括】

今回、調査した教職員住宅の入居率は86%と高く、3戸の空家数となっているが、児童、生徒数の状況により、教職員の配置数に変動があることから、学校の運営と併せて、将来を見据えた検討が必要である。

町借地については、契約期間更新時に借地料単価について地権者と協議をしている。

また、利用目的などにより将来的に町有地として保有すべき借地は、用地取得に向けた対応を行い、地権者と十分な継続協議を望むものである。

【調査事項】

宮崎県によるドローンを活用した物流実証実験について

【期 日】令和3年2月9日

【場 所】八戸 黎明館

当町は、人口減少と過疎化・少子高齢化を背景とした流通機能や交通網の弱体化などの多様な理由により、日常の食料品や日用品を調達できない状況に置かれている人達、いわゆる買い物弱者への対策が必要となっている。

今回、中山間地域での物流の手段として、星山地区から注文を受けた梅戸商店が、黎明館でドローンに荷物を積み、星山地区へ配送するドローンを使った物流実証実験があり視察をした。

現在、全国各地で各分野での実証実験が実施されており、ドローンの利活用や産業活性化の在り方、事業採算性、安全性、機体の能力などの検証結果の情報収集の元、今後、当町でも導入の可能性について検討する必要があると考える。



【ドローンによる実証実験】

所管事務調査報告

■ 経済建設常任委員会

【調査事項】

森林セラピーロードの管理状況について

【期 日】 令和3年1月18日

【場 所】 矢筈岳トロッコ道ウォーキングコース

矢筈岳トロッコ道は、昭和27年に開通した高千穂営林署の旧トロッコ道を利用したセラピーロードで、全長7kmの高低差もほとんどない歩きやすいロードである。

1 km毎の表示板が朽ち果てており、早急な設置が必要である。また、2・5 kmの展望所において、複数本の雑木処理を行えば更に景観が映え絶景の景勝地になる。地主の理解は得られているとこのことであり早い対応が望まれる。

4 km付近には八戸地区簡易水道の水源地もあり、獣害による落石もあり幅員が狭小なために安全確保を含め、建設課、地域振興課と連絡を取り合い、定期的な見回りが必要である。

矢筈岳を見上げるロード沿線には自生の樺の群生林があり、樺の中の雑木の除伐やその実を利用した商品開発をおこなうなど、地主と協議し早急に取り組んで欲しい。

今日、ココナ禍で密にはならず、

癒しのスポットとしてロケーションも素晴らしいので、さらに適切な管理と情報発信が必要である。

【調査事項】

1、サル特別捕獲対策事業の実施状況(田吹)

2、森林基幹道高千穂日之影線の整備状況(乙女大橋、大人・大台場)

【期 日】 令和3年1月28日



【サル特別捕獲対策事業の実施状況】

1. サル特別捕獲対策事業(田吹)

当該地域は、大川平5地区で形成され、農林業を主体とした62戸の農家が、主に畜産や椎茸、柑橘類、栗、花卉等の複合経営を行っている。過去にも猿被害が多発し、有限会社鳥獣研により一斉捕獲した実績があるため、今回契約をしたものである。

林産物は、生活の糧であり被害が出ることもあつてはならないが、それ以上に生産意欲の低下と精神的にも心が折れることは避けなくてはならない。様々な要因が考えられるが、現状、設置後から定期的に出没していた群れが全く出なくなった。今後注視しながら管理体制を見守ることであった。

2. 森林基幹道高千穂日之影線(乙女大橋、大台場)

全長は、41 km(高千穂28・6 km、日之影12・4 km)である。平成28年度開設、令和17年度の20年の計画で、今回は町境の乙女大橋を視察した。橋長114 m、幅員5 mで、令和3年3月が完成予定となっている。5工区終点の宇目須木線の森林基幹道にタッチする大台場においても、既に800 m開設され順調に進んでいる。

森林基幹道の区域森林面積は3,000 ha以上あり、伐期を迎えた森林資源の付加価値を確立し、更には

メンテナンスも向上され、循環型山林形成が持続可能な物になることが予想される。

他方、両町の8地区を縫う路線になることから、災害時にも迂回路や孤立集落を皆無にする道路でもある。引き続き高千穂町と事業費の獲得に向け、国、県関係機関等に強く要望をすること。

【調査事項】

町道舟ノ尾中道線の道路改良について

【期 日】 令和3年3月4日

【場 所】 舟の尾集落内

舟の尾公民館から提出された要望書を受け、対象となる町道路線の現地調査を実施した。

集落内の幹線道路から入る支線の改良要望であり、全長約350 mである。幅員が3 m未満で側溝の段差があり、蓋の設置等はできない現状である。また、防火水槽の排水は、横断溝もなく改善が必要である。

全長を踏査したうえで、一部改良や路面、法面、側溝の蓋掛等で改善可能との結論に至りました。

また、日常生活での緊急性が低いことから、町内の道路要望や全体的な均衡を勘案しながら、対応をする旨の意見も申し添えます。

日之影町の空き地空き家対策の促進状況は

町長

状況の変化に対応して取り組みを進めていく



高 舘 英 嗣
議 員

問 今後、さらに空き家が増えることが予想されるが、現状の空き家対策への取り組みは

町長 日之影町の空き家等対策の推進に関する条例の下、空き家バンクへの登録を促し、現在29軒が利用されている。今後も利用可能な空き家の掘り起しに努め改修費の助成を継続していく。また、社会情勢のニーズに応えられるような取り組みをおこない、関係人口の創出に努め移住定住の促進につなげていきたいと考えている。さらに、利活用が困難な空き家については所有者と協議し解体を含め適正に管理していただけるよう努めていく。

問 持ち主不明の空き家、空き地への対策は

町長 現時点で、持ち主不明の空き家、空き地は確認されていないが、さらに高齢化が進むと相続不明の物件が出ることも予想される。相続が確実に行われるよう「相続人の代表者指定届」の提出を促すとともに関係各課や関係機関と連携し検討していく必要があると考えている。



【さらなる対策が求められる空き地・空き家】

八戸小学校跡地活用説明会

日時 令和3年2月19日 19時
場所 八戸本通り公民館

教育委員会の説明の後、今後の活用方法などについて意見交換が行われた。議会としては今後の動向を注視してまいります。これまでの経緯を図形式で説明します。

令和2年6月16日八戸地区活性化協議会解散

八戸小学校跡地活用庁内検討会設置

- 令和2年8月20日
八戸地区活性化協議会の活動実績説明及び意見交換会
- 令和2年10月28日
延岡市旧北方小学校廃校舎等の利用活用状況視察及び利活用にいたるまでの経緯確認
- 令和2年11月2日
「廃校施設を活用した地方創生の取り組み」に関する講演会
- 令和3年1月8日
廃校施設の活用及び財産処分手続き等について
- 令和3年1月20日
跡地活用に関する検討内容報告会

アンケート結果によると約80%の人が跡地活用に関心を持っていました。跡地活用にはメリットもあるが、費用負担、合意形成など課題もみえてきた。

西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会

3月16日に高千穂保健所において、第2回西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会が開催された。

議 題

医療機能の方向性、医療確保、経営形態

医療機能の方向性

西臼杵郡3町から流出している入院患者を逃さないための体制を構築することが必要である。(病院の機能再編)

医療確保

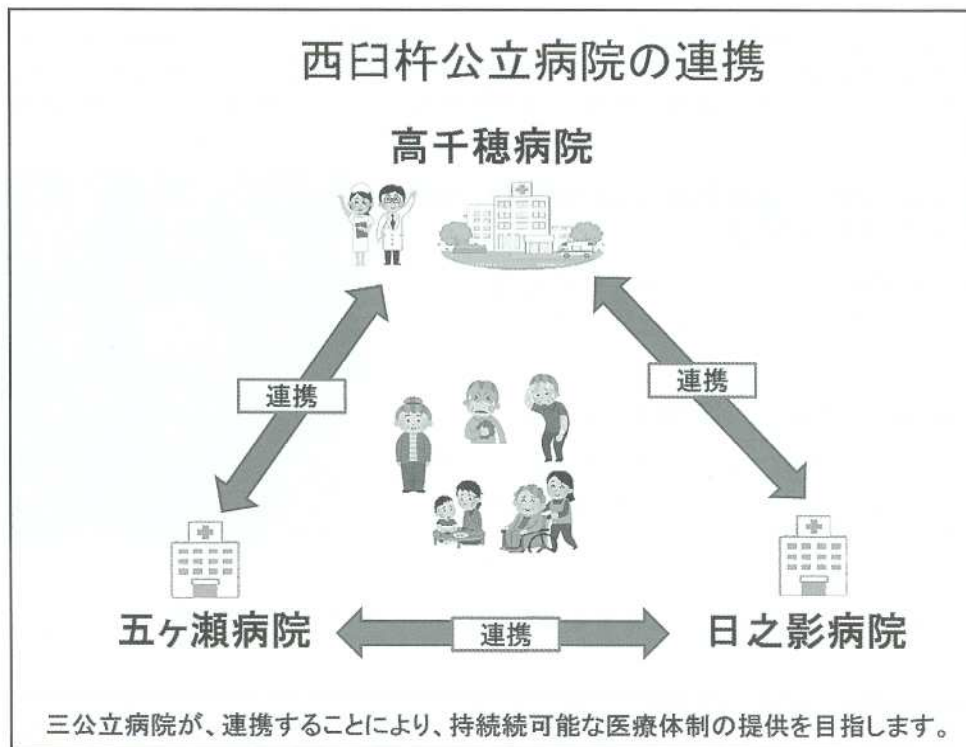
熊本大学、宮崎大学との関係構築を維持しながら独自の採用を強化、勤務環境等の整備が求められ、西臼杵郡3町で方向性を協議し、共同の取り組みをすることが重要である。

経営形態

将来的に西臼杵地域の地域医療を存続させるためには、一部事務組合による病院経営統合による病院経営について、具体的に検討する必要がある。

◎3町の住民代表より病院に対しての要望や改善してほしいこと、利用者の立場から病院規模や機能をどうすべきと考えるかなどの意見が出された。

今後の予定として、4月に「病院統合準備室設置」、5月18日に第3回西臼杵郡における地域医療のあり方検討委員会が開催されます。



■議会傍聴のご案内

次回の定例会(6月)より新庁舎での開会となりますので、皆様の傍聴をお待ちしております。お気軽にお問い合わせください。その他議会に対するご意見等もお聞かせください。

◎問い合わせ先 議会事務局 TEL87-3908

※新庁舎移転後 TEL87-3808

表紙者紹介

◆◆◆ 谷川 峰喜さん（69歳）、きよ子さん（70歳）夫婦 ◆◆◆

- 問** いきなりですが、お二人が結婚したきっかけはなんですか
- 答** 幼馴染で昔からお互いの事をよく知っていたこともあり、縁があって結婚しました。
- 問** 以前クレーン車に乗っていたそうですが思い出に残っていることは何でしょう
- 答** 深夜に嫁さんと大分の事故現場まで行った事で、全ての作業が終わり家に帰りついていたのが朝の6時だったことです。
- 問** 今も運転の技術を活かしていると聞きましたが
- 答** 朝夕のスクールバスの運転手をしています。子どもたちの元気な姿に力をもらっています。
- 問** 運転手の他にも何か仕事はされているのですか
- 答** はい、朝の運転が終わったら、弁当を持って山で農林業を営んでいます。
- 問** 山ではどのような仕事をしていますか
- 答** 杉の苗を育てたり間伐をしたり、椎茸や柚子を栽培しています。もちろん、米も作っていますよ。
- 問** 杉の苗はどのくらい育てているのですか
- 答** 路地栽培を行っており、昨年は18,000本出荷して、今年は16,000本作っているところです。
- 問** 柚子、椎茸、米はどうですか
- 答** 柚子は主に青柚子を出荷しており、2人で収穫した4トンの青柚子を出荷しています。椎茸は1ヘクタール以上の広さで作っていますが、椎茸も2人で収穫し乾燥して出荷しています。昨年、米が特に良くて、収穫量も多く、一等米ばかりでした。
- 問** 年間を通じて農業を営んでいますが、大変なことはないですか
- 答** 木や植物、何にしても手をかけたほど良いものが育つので、苦労と思っただ事はないです。
- 問** 最後に奥さんに一言お願いします
- 答** ここ1年はコロナでどこにも旅行に出かけていないけど、コロナが落ち着いたら、また、一緒に旅行に行こう。



編集後記

例年4月は、桜の開花や新緑の元、穏やかな春を迎える季節ですが、新型コロナウイルス感染症の終わりが見通せない中、少し寂しい春となるようです。

一刻も早く収束し平穏な日常生活が戻ってくることを心から願わずにはいられない毎日です。

議会では、新年度の予算を審議する3月定例会が18日間の日程で開かれました。

今後とも皆様の暮らしの安全、安心を確保できるように、前向きで信頼される議会活動に努めて参ります。

小谷 幸治

発行責任者

議長 一水 輝明

議会報編集委員

委員長 高館 英嗣

副委員長 工藤 英信

委員 小谷 幸治

委員 小川 輝久